

**第508回 5月23日開催
出席委員（50音順・敬称略）**

荒巻 裕	伊藤 芳明
大村 英昭	木下 明美
國定 浩一	黒田 勇
櫻井 美幸	東野 博昭

◆ テレビ報道番組「VOICE」

**5月8日（月）～12日（金）
18時16分～18時55分放送**

毎日放送の第508回番組審議会は5月23日大阪市北区の本社で開かれ、毎週月曜から金曜の夕方に放送しているテレビ報道番組「VOICE」を取り上げ、5月8日（月）～12日（金）の5日分を中心に審議しました。

委員の主な意見

- * 番組はテンポがよく、音楽を上手に使い、スピード感がある。
漫画でいうコマ割りを見ているようなテンポ。どんどんページをめくっていくようなイメージがした。
- * カラ残業問題など一連の大阪市問題の「VOICE」の調査報道は高く評価してし過ぎることはない。地域課題の解決のための情報提供の役割を果たしている。ワイドショーとニュース番組の境目があいまいになっているが、「VOICE」は明確に分けてほしい。ニュースには基本的には効果音を入れないとか、ワイドショーがやるおどろおどろしいスタイルはとらないというけじめを。
- * 大阪市のカラ残業問題を摘発した「VOICE」のスクープ画面はいまだに印象に残っているが、今回の飛鳥会報道もそれに匹敵する。他局に先駆け、踏み込んだ取材、報道をしている。

- * 薄毛の話題で、桐の葉の育毛剤を取り上げていたが、なぜ桐の葉を取り上げるのか、納得いくように説明しないと、一つの商品のPRに流れる可能性がある。被疑者側の人権、プライバシーへの配慮という点で違和感を覚える企画取材があった。
- * 報道番組として非常にレベルの高いところで存在している番組。新聞もテレビも被害者の涙や悲しみにおもねている気がする。加害者側がかかえる問題や、加害者が犯罪に至った過程、背景ももっととり上げてほしい。
- * テンポのよさに支えられながら見られる報道番組。明るいテーマと社会派の暗いテーマ、堅いテーマとやわらかいテーマが上手に配されている。取材力の豊かさを感じる。
- * 「VOICE」は同時間帯で視聴率1位を保っているが、抜きん出るだけの大きな違いはない。今後さらに特徴を出していく努力を。

◆委員の交代について

大阪学院大学教授の國定浩一氏が毎日放送番組審議会委員に就任、5月例会に初参加されました。